

山岡石材工業のSDGsへの取り組み

山岡石材工業では2020年からSDGs推進プロジェクトチーム結成。プロジェクトチームを中心に取り組みを開始いたしました。

まずは、現状の日々の仕事の中でSDGsに沿っているものを考えてみました。当たり前に行っていたことの多くがSDGsの取り組みに当たること気づかされるとともに、弊社の方針が世界目標に沿っていることが嬉しかったです。

最近ではメディアなどで取り上げられ、多くの人に浸透しつつありますが、当初はSDGsという言葉を知り初めて聞いたという社員が殆どで、とても難しい取り組みという印象を持っていたため、まずはSDGsの浸透を目標とし、先に述べました「日々の仕事のSDGs」として、日頃の行動の何がSDGsの取り組みの一つになっているか、クイズを交えながら紹介していきました。(抽選で豪華賞品の当たるクイズも開催し、社員のSDGsへの浸透を図りました。)

【日々の仕事の中で取り組んでいる目標】

<p>※安心の職場づくり</p> <p>4 働きがいと職場の多様性</p> <p>「すべての人に包摂的かつ公平な賃金の高い機会を確保し、全労働者の機会を平等にする」</p> <p>海外から技能研修生、全国から学生インターンシップを積極的に受け入れることにより、すべての人に、働きがいのある人間らしい仕事を提供し、又、仕事に必要な技術や能力を鍛えた若者や成人の割合を増加させることを目指します。</p>	<p>※豊かな街づくり</p> <p>6 安全な水と衛生</p> <p>「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」</p> <p>富山県民の命、自然災害時の地域利用を想定した戸戸の設置を推進し地域社会の災害対策に取り組み、住みやすい地域の環境づくりへ貢献。</p>	<p>※美しい環境づくり</p> <p>12 持続可能な生産消費形態を確保する</p> <p>自社工場を持つ当社の廃みを生かし、建設や修繕にて資材の再利用を積極的に取り入れ、また自社製品の品質に責任を持ち「10年保証」、「産地証明書」、「前課業上」などの提供に取り組む。</p>
<p>5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力開発を行う</p> <p>男女問わず、育児休業制度・介護休暇・特別休暇を導入、子育てや介護と仕事を両立出来る職場づくりを目指し、産後休業から帰社後、子育てや介護と、社員全員が平等かつ安心して活躍出来る職場の環境づくりに取り組む。</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>「包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する」</p> <p>富山駅の改修工事や河川の護岸工事など、地域の人々の生活の利便性や安全性にかかわる仕事や、コミュニティ等といった新しいお題の提案を通して、住みやすい地域の環境づくりへ貢献。</p>	<p>15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対策、ならびに生物多様性の損失を防止する</p> <p>梱包材・解体工事などによる梱包材を木材チップとして再活用し、廃棄処分を削減し資源の循環を通して廃棄物の削減や天然資源の効率的な利用を目指す。</p>
<p>8 働きがいと経済成長を</p> <p>リフレクティブ職の導入や技能検定等の資格取得を奨励的に推進、資格取得や検定試験を高く評価する評価制度を導入し、働きがい、生きがい、働きがい、働きがいのある職場環境と高いレベルの生産性を目指す。</p>		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS みんなで考えよう 山岡石材工業

SDGs クイズ

正解者には、抽選でジュースなどプレゼント!!

Q2 山岡石材工業が取り組む7つの目標の中で、富山駅の改修工事や河川の護岸工事など、地域環境の仕事に取り組んでいるのは、次のどれにあてはまるでしょうか？

4 働きがいと職場の多様性	5 ジェンダー平等を達成	6 安全な水と衛生	8 働きがいと経済成長	11 住み続けられるまちづくり	12 持続可能な生産消費	15 陸域生態系の保護
----------------------	---------------------	------------------	--------------------	------------------------	---------------------	--------------------

事務所入り口のタイムカード横に置いてある回答用紙に、回答番号とお名前を記入して、回答BOXに入れてください!

現在では、職場や仕事内だけではなく休日や家庭などでも気軽に SDGs への関心を持ってもらい、取り組んで欲しいと考え、社内報を利用し、各支店での取り組みや支店がある地域で行っている取り組みなどを紹介しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 山岡石材 SDGsプロジェクト

全店で SDGs に取り組もう!

各店で取り組める SDGs を考えて、「〇〇店の SDGs」を紹介してください。

例
カラーコピーは必要なものだけ
マイボトルを持つ
トイレ掃除は男女問わず当番制に
など、どんなことでも大丈夫です。写真もあると分かりやすいと思います。

2022.1月号は本店営業部です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 山岡石材 SDGsプロジェクト

富山山室店 山室店長

富山駅北エリアでグリーンスローモビリティ運行中

富山山室店編

グリーンスローモビリティは、時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスです。CO₂の排出量が少なく、環境にもやさしいのが特徴。また小型でゆっくりとした走行なので小回りもきき、狭い道も走ることができるため、高齢化・過疎化が進む地方で「地域の足」として注目されています。家庭用のコンセントで充電できるのも便利なポイントで、ガソリンスタンドが撤退してしまった地域でも運用することができる新しい交通手段として注目されています。

SDGs 目標 7 番目「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、11 番目の「住み続けられるまちづくりを」という目標にピッタリな乗り物です。

また、社員への浸透活動と並行して、弊社でも新たな取り組みも行うべく、北陸銀行の寄贈型 SDGs 私募債を活用。志貴野中学校へ TENT を寄付させていただきました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 山岡石材 SDGsプロジェクト

SDGs 私募債で志貴野中学校へ TENT を寄贈!

山岡石材では、ほくぎん寄贈型 SDGs 私募債を利用し、当社と北陸銀行様より志貴野中学校へ、ワンタッチ式のパイプテント一式を寄贈しました。(6月23日)

志貴野中学校は、山岡社長と同校の前年度 PTA 会長を務めた本店営業部青木課長が同校下に住んでいることから寄贈先とし、運動会や部活動などで熱中症対策になればとテントを選びました。山岡社長は「子どもたちの安全・安心のために使っていただければ」と述べ、白江校長からは「子どもの活動に地元企業の支援をいただき、これ以上うれしいことはありません」と感謝の言葉をいただきました。今後も地域に根ざした企業を目指し、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいきたいと思います。



今年度からは、資源の有効活用を意識し、自社ブランドである「紀山石」の魅力を発信。墓石等の作成時に発生する、小さな石材を利用し小物の作成を開始しました。

